

● ● 花王における 事業主と健保とのコラボヘルス
● ● の推進について

～健康宣言を起点に

P D C A サイクルでヘルスリテラシーの高い社員づくりへ～

2015年10月7日

花王株式会社人財開発部門 健康開発推進部

花王健康保険組合

児玉 成志 守谷 祐子

KaO

経営トップからのメッセージ

【要約】

「健康」は個人生活の基盤ばかりでなく社会の財産

社員の健康は自分にも家族にも、
そして会社にもかけがえの無い財産
健康は社会にとっても共通の財産

健康づくりの主体はあなた

1人だけでは限度もあり、会社としても積極的に支援
気付きを促し、アドバイスし、応援する
職場を通して推進し、産業保健スタッフはその支援

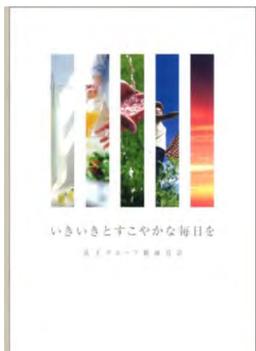
健康経営を標榜する企業の一員として

自分、家族、同僚、メンバーの心身の健康に関心をもち
明るく、楽しく、元気よく「健康づくり」の実践を



2008年発行

グループ会社全社員に配布



私たちは、日々いきいきと健康づくりに取り組み
すこやかで心豊かな生活の実現をはかるとともに
元気で活力ある職場を通し
お客様とともに感動する会社を目指します。

5つの取り組み

花王グループでは、会社として最低限行うべき「健康管理」のみならず、社員が自ら健康を維持増進することを「健康づくり」とよび、以下の5つの取り組みを中心に実施していきます。

1. 生活習慣病への取り組み

生活習慣病は、健康的な生活習慣を続けることによって、予防することが可能です。あなたが、今の生活習慣を少しずつより良い方向に向けていくための支援を行っていきます。

2. メンタルヘルスへの取り組み

こころの健康は早期発見・早期治療が大切です。あなたの気づきを促し、早期対応を実施していきます。

3. 禁煙への取り組み

「禁煙しやすい環境づくり」、「禁煙を始めた人への支援」の2つを支援策の柱として行っています。

4. がんへの取り組み

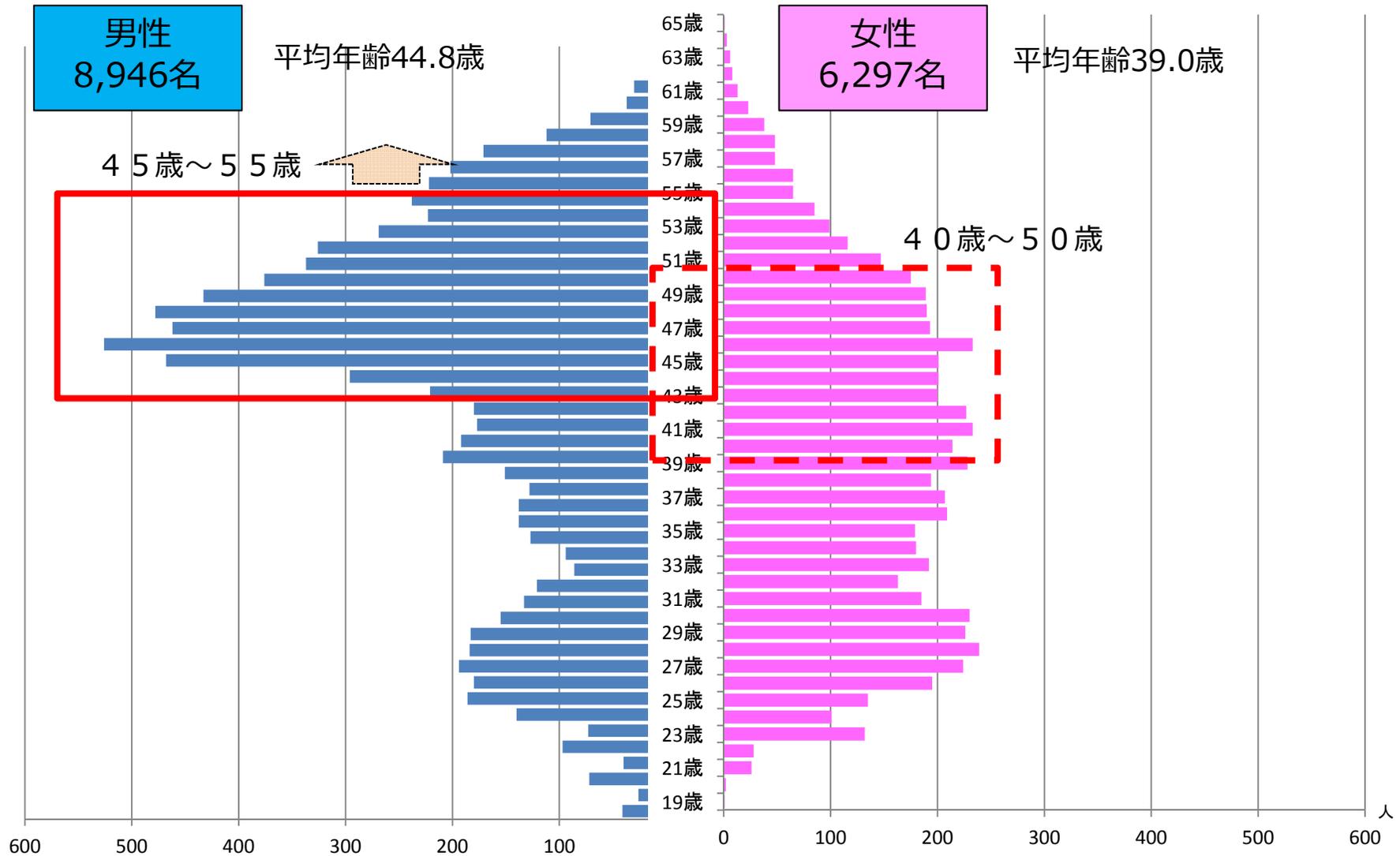
がんは最大の死亡原因です。花王グループでは、罹患率・死亡率が高く、早期発見・早期治療が有効ながんに対するがん検診の受診を促進していきます。

5. 女性の健康への取り組み

女性の皆さんがいつまでもはつらつと輝いて過ごせるように、女性の健康を守る取り組みを実施していきます。

社員構成

【2014年12月末 社員の人員構成】





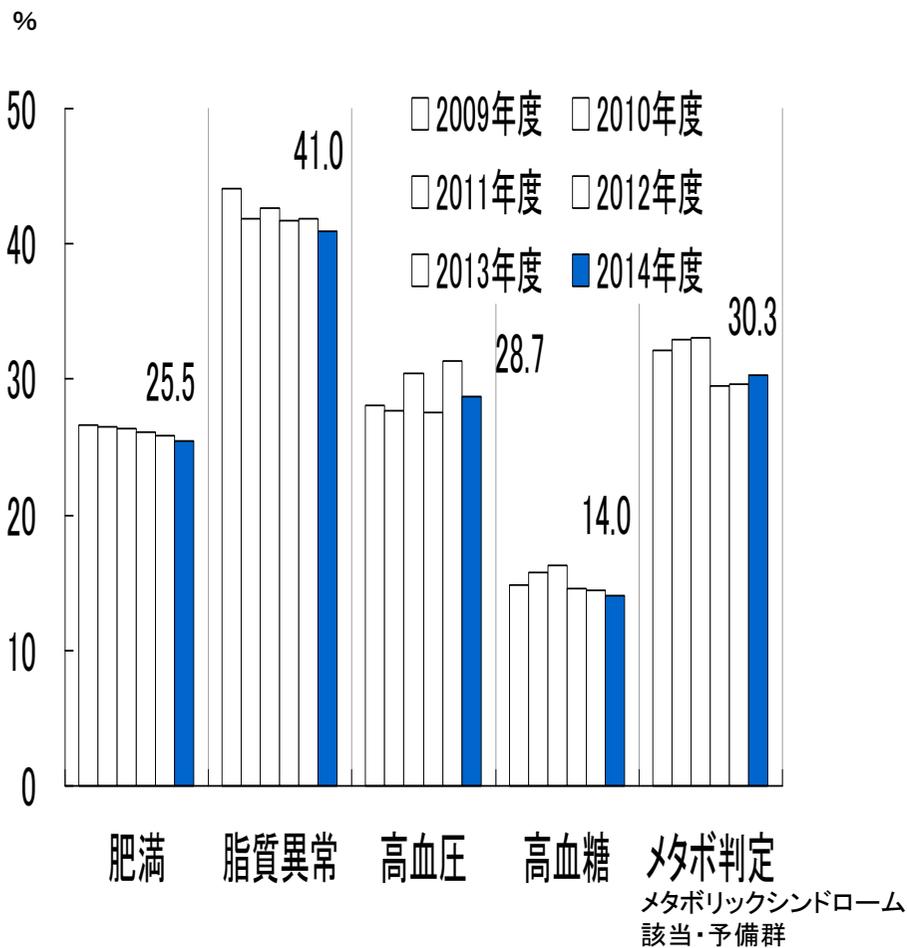
健康状態の概要（全体）（有所見率）

メタボリックシンドローム該当者・予備群は、男性は2.1%、女性は0.1%減少（2009年度比）
男性は血圧を除き、有所見が減少傾向にある。女性は、高齢化が進み有所見率が上昇傾向にある。

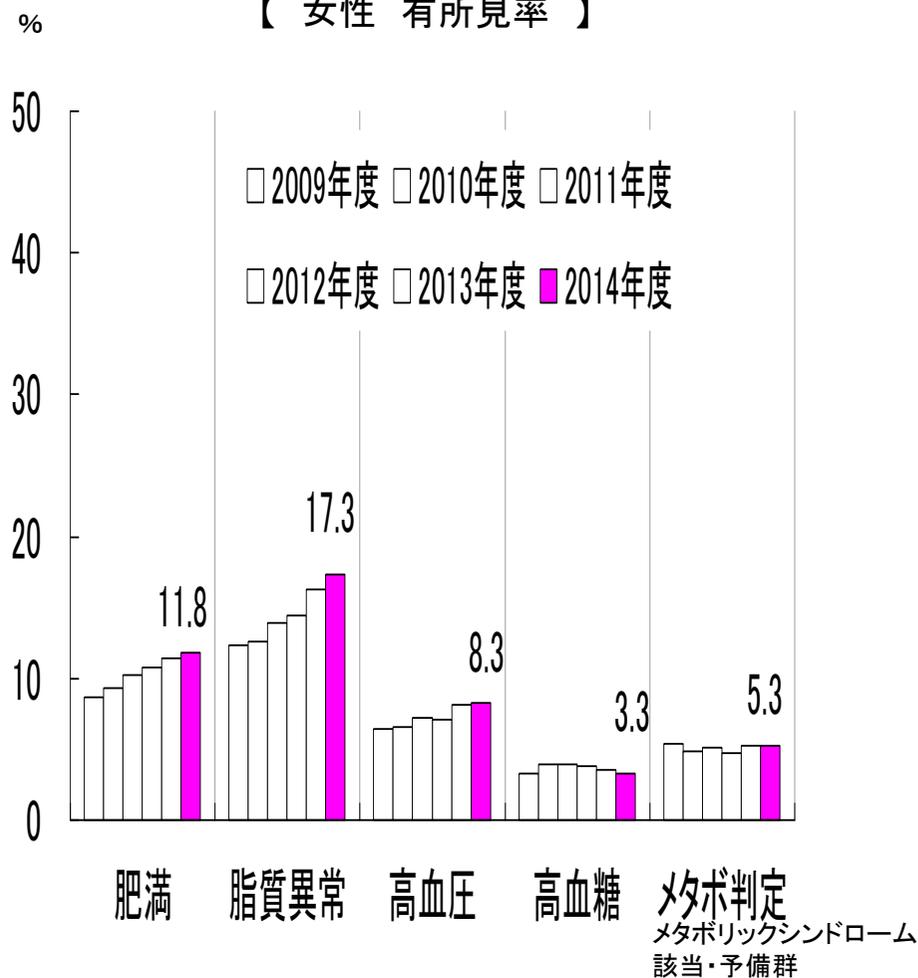
平均年齢は、男性は 1.2歳、女性は 3.8歳増加

2015年度健康白書より

【 男性 有所見率 】



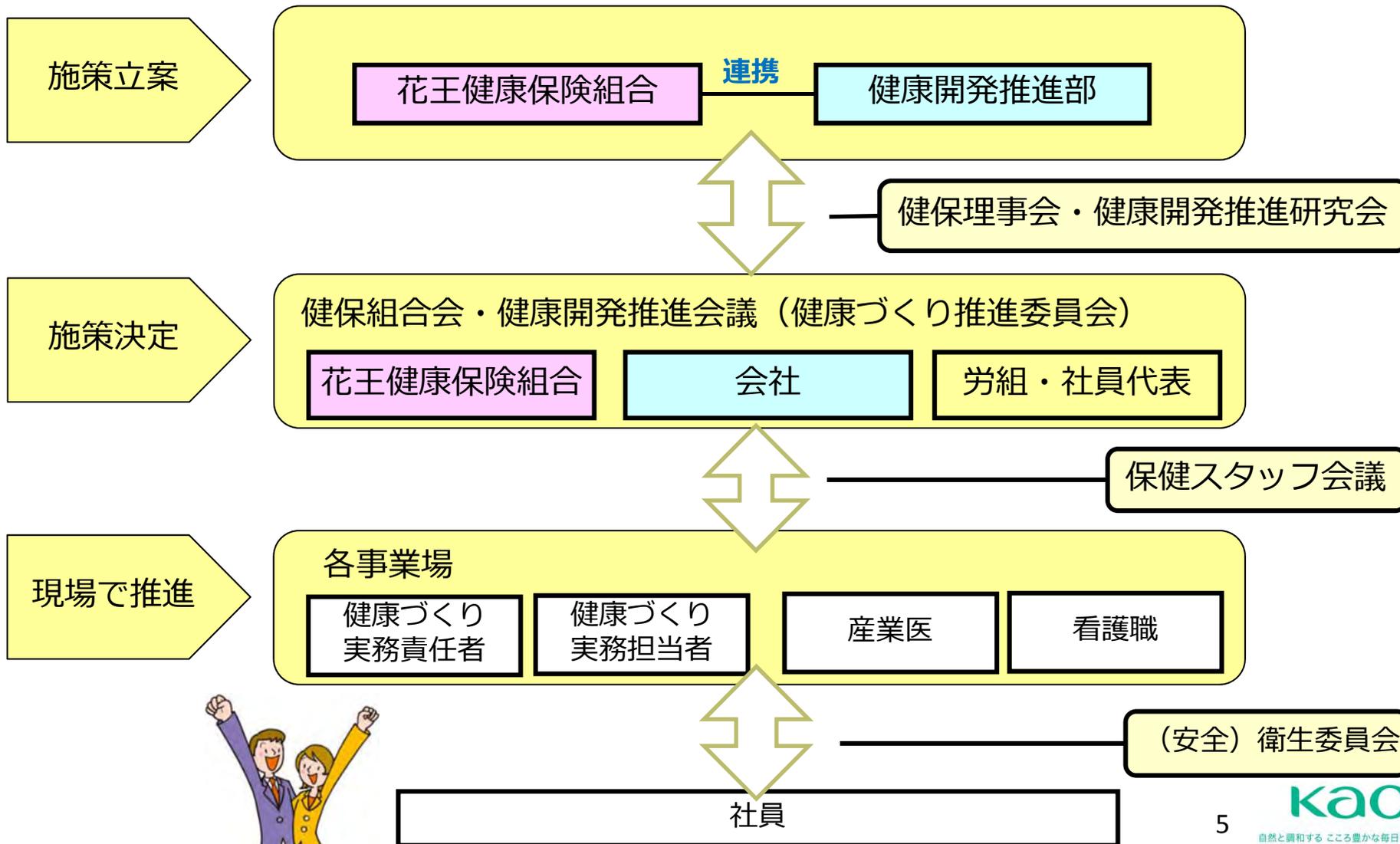
【 女性 有所見率 】





推進体制

会社と健保が連携し**コラボヘルス**による「**健康経営**」を実現
現場主義に基づき、各事業場では、
事務職（健康づくり実務責任者・担当者）と**産業医・看護職**が協働





個別 活動状況のご報告

- ① 事業主と花王健保の役割・健診等実施状況
- ② 2014年度医療費の現況と医療費の変化（割愛）
- ③ 特定保健指導の実施状況と効果
- ④ がん検診の受診勧奨と早期発見、早期治療（割愛）
- ⑤ 重症化予防施策（割愛）
- ⑥ メンタルヘルス施策
- ⑦ 健康づくり施策
 - 1) 健康マイレージの導入と活用
 - 2) 内臓脂肪測定会

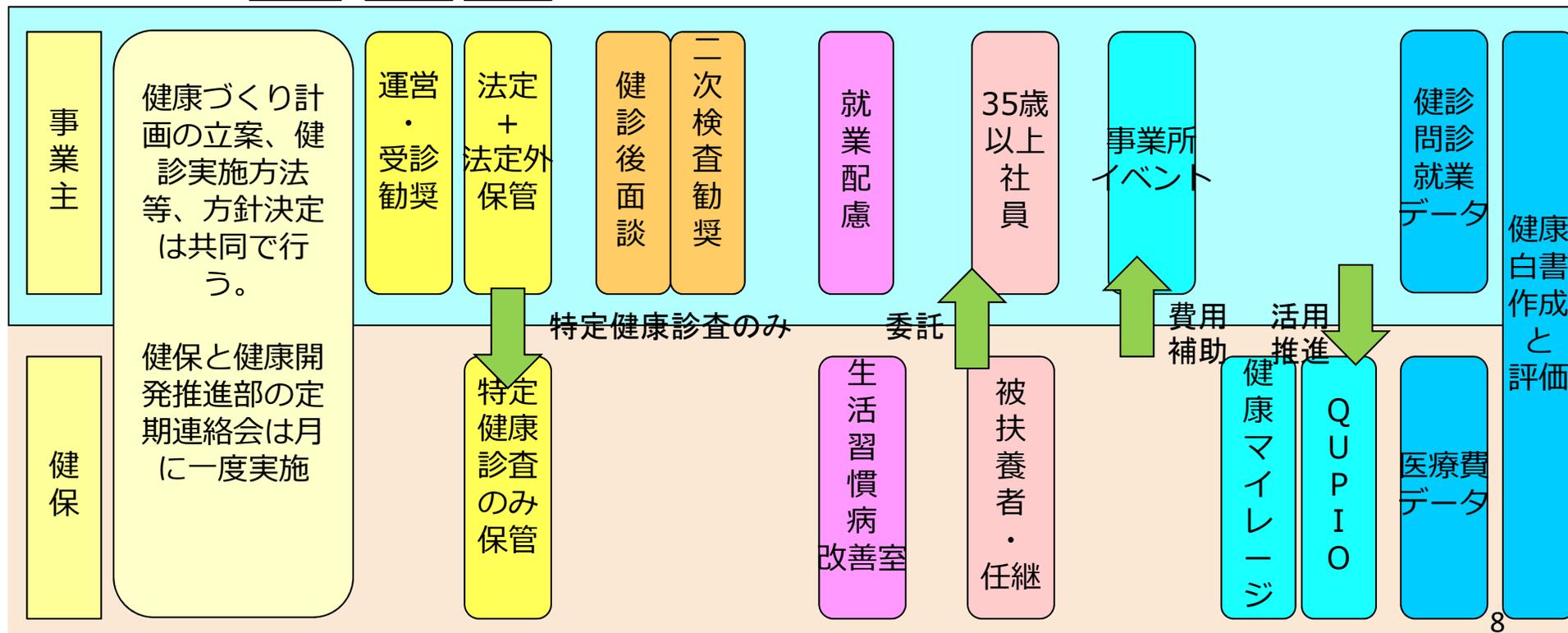
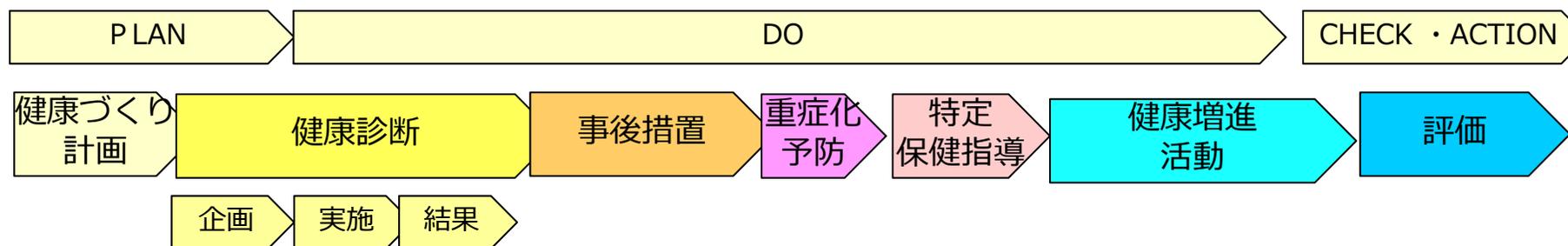


① 事業主と花王健保の役割・健診等実施状況



事業主と健保の役割

- ・ 事業主と健康保険組合は協働でPDCAサイクルを推進。
- ・ 花王では、健診を起点とした健康づくりサイクルを提唱し、以下の役割で従業員の健康支援を実施。
- ・ 施策決定および実行後の評価は協働で行い、従業員への働きかけは事業主が、健康増進活動（健康マイレージ QUPiO等）は健保が支援し、事業主が推進する。





健診・健診後事後措置・特定保健指導の実施状況

項目	費用（総額）	費用（単価）
・定期健康診断受診率 99.9% (15,710名)	443百万円 (会社175百万、健保268百万)	
生活習慣病健診 99.9% (11,842名) 30歳、35歳以上	391百万円 (会社123百万、健保268百万)	@33,030円 (会社10,400円 健保22,630円)
一般健診 100% (3,868名) 29歳以下、31~34歳	52百万円 (会社 52百万)	@13,470円 (会社13,470円 健保 0円)
・二次検査受診率 77.4%	保険診療（健保7割、本人3割）	右に同じ
・健診後面談実施率 88.9% 対面面談実施 58.8% メール・電話のみ 30.1%	—	—
・特定保健指導実施率 積極的支援 603名 65.2% 動機づけ支援470名 72.1% ※%は終了者のみ	24百万円（健保負担額）	積極的支援25,000円 (外部委託34,000円) 動機付支援10,000円 (外部委託17,000円)



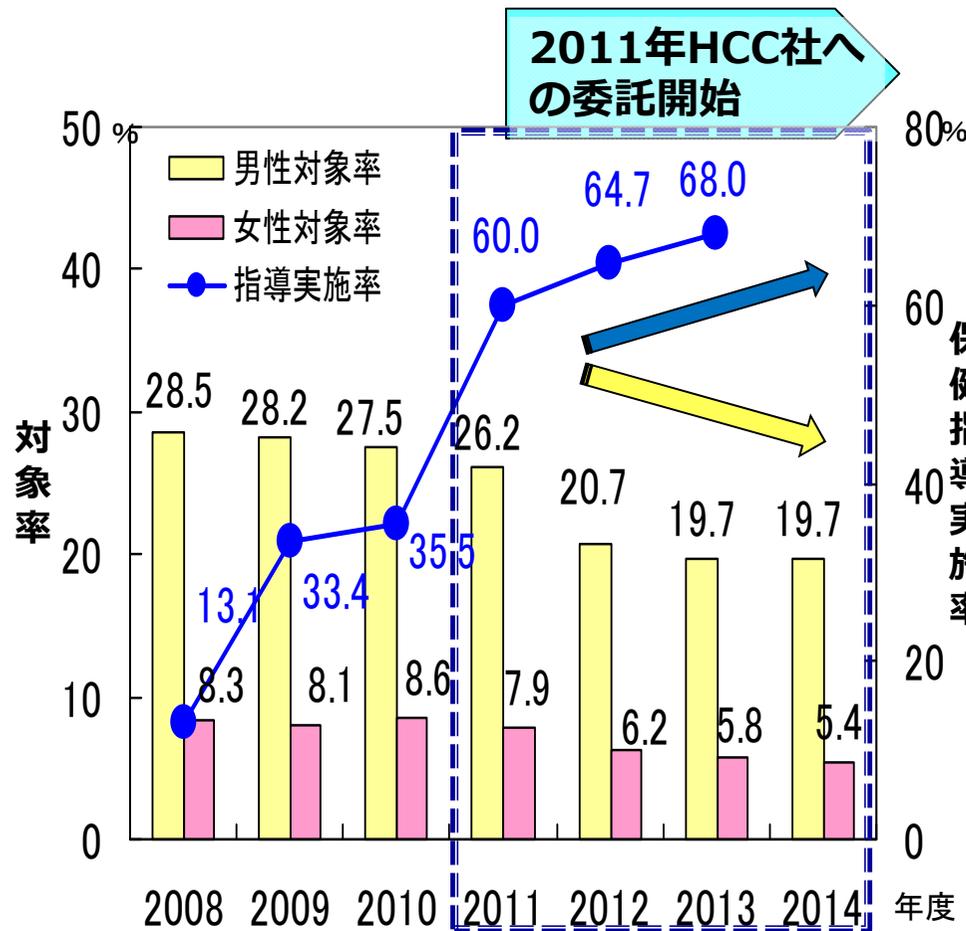
③ 特定保健指導の実施状況と効果



特定保健指導の実施状況

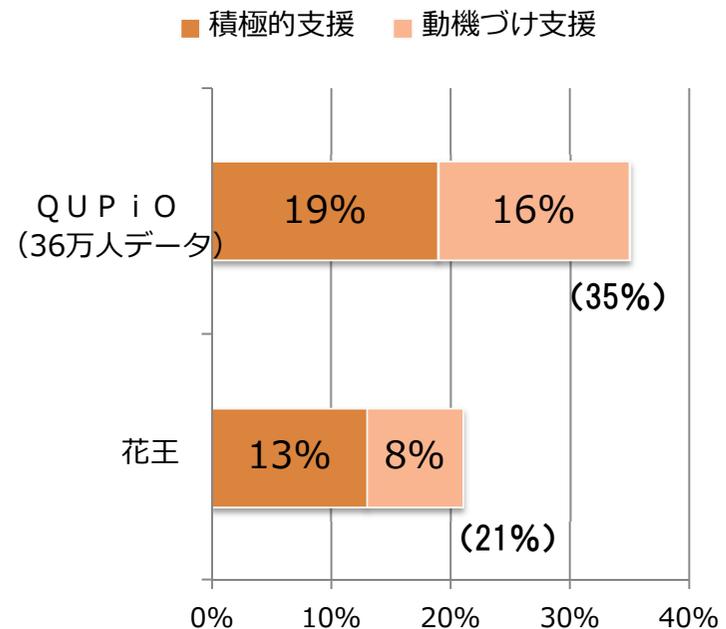
- ◆健康保険組合が事業主に委託し、35歳以上社員に特定保健指導実施。
- ◆事業主は、積極的支援の継続支援部分をHCC社に委託。これにより特定保健指導の終了率が上昇。事業主看護職は、プレメタボ層への動機づけ支援を開始。結果、特定保健指導実施率の向上と、対象者の削減につながった。

35歳以上 特定保健指導対象者



花王とQUPiO登録者全体の特定保健指導対象者の比較

(2013年度 40歳以上男性 比較)



*ヘルスケア・コミッティー社(HCC社)は、花王のグループ会社で2003年から保健指導を事業として実施してきた予防医学における実績のある専門機関。

※QUPiOとは、HCC社が提供する予防プログラム
2014年12月時点で190万人が登録している。
<http://www.qupio.jp/>

特定保健指導の効果

- ◆ 2011年度より特定保健指導対象者のほぼ全員に特定保健指導参加勧奨。
- ◆ 2011年度の保健指導実施群は未実施群に比べ2012年度の改善率が高く、2013、2014年度になってもメタボ該当・予備群の割合が抑えられている。
- ◆ 一方、健診前キャンペーン（ウォーキングイベント）や内臓脂肪測定会、各事業場での健康づくりイベント等により未実施者でも改善しており、集団アプローチは重要。

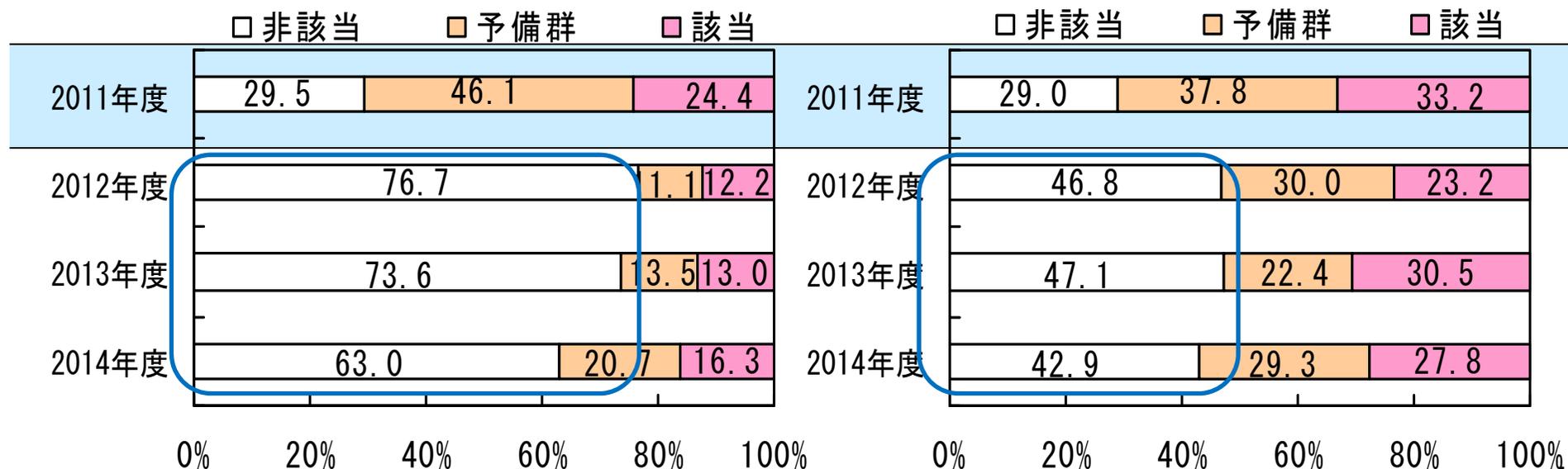
- ・ 2011年度特定保健指導実施の有無による健診結果の経年比較
- ・ 2011年度に実施し、2012年度・2013年度は特定保健指導・プレメタボ支援を実施していない層を抽出。

(人)

2011年度 特定保健指導対象	合計	平均年齢	性別		保健指導レベル	
			男性	女性	積極的支援	動機付け支援
【実施】	386	46.9歳	348	38	218	168
【未実施】	410	46.3歳	325	85	275	135

【実施】メタボリックシンドローム判定経年変化

【未実施】メタボリックシンドローム判定経年変化



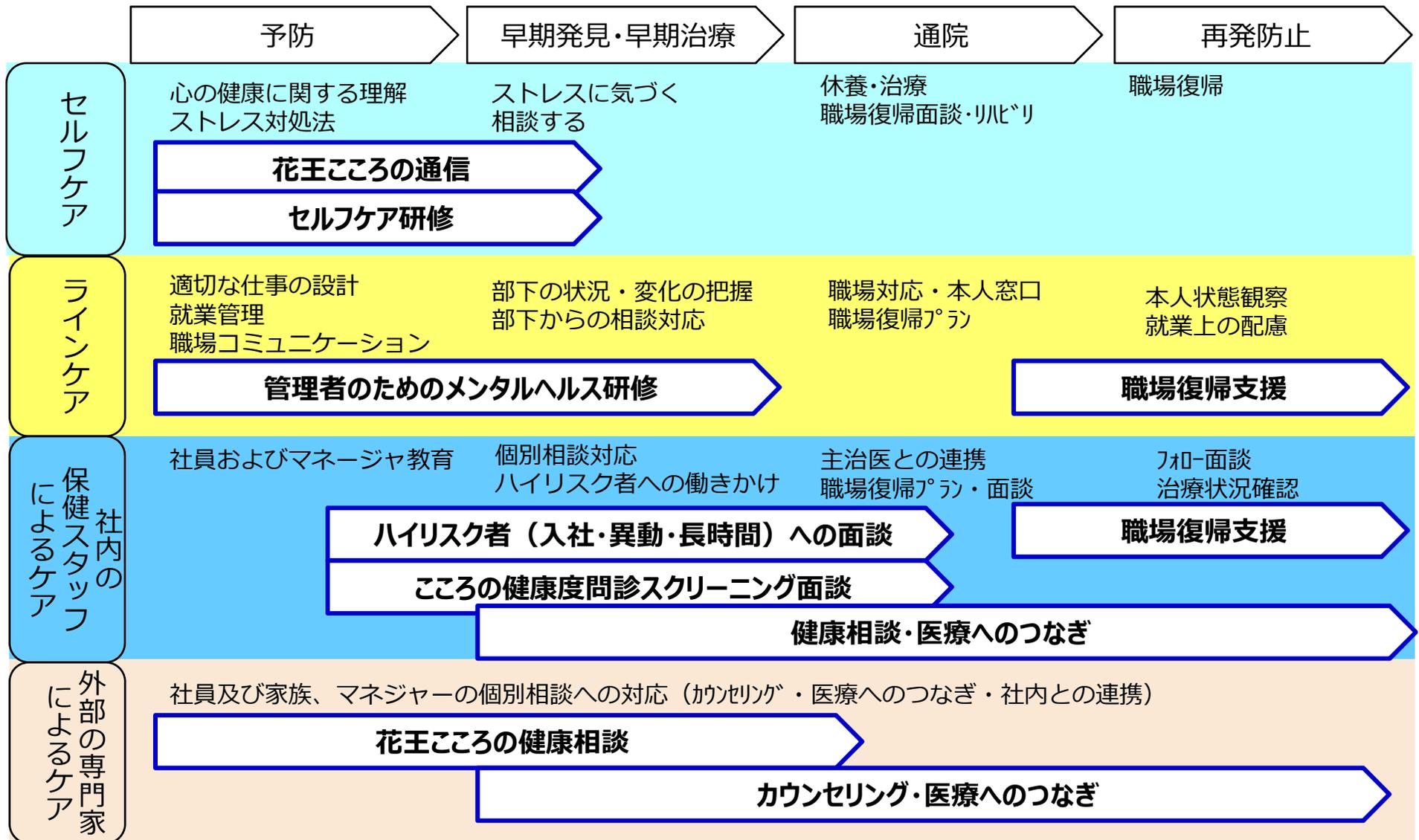


⑥ メンタルヘルス施策



メンタルヘルス施策

◆厚労省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に基づく4つのケアを中心に施策を展開





⑦ 健康づくり施策

- 1) 健康マイレージの仕組みと効果
- 2) 内臓脂肪測定イベント



健康マイレージの仕組み

- ◆健康づくりに取り組む人へのポピュレーションアプローチとして2007年から実施。
- ◆毎日の記録登録や、健診結果判定、各種イベントへの参加等によりポイントが付与され、貯まったポイントは健康グッズと交換することができる仕組み。

ポイントの対象となる活動

分類	内容	付与されるポイント
記録型	毎日の歩数を登録	0~10 mile/日
	生活習慣改善目標の設定と記録	0~300 mile/月
参加型	事業場で行う健康づくり事業に参加	0~1,000 mile/年
	会社の歯科検診に参加	300 mile/年
成果型 (健診・問診)	糖代謝、脂質、血圧、BMIの結果がA判定	各300 mile/年
	タバコを吸わない	300 mile/年

2014年度参加状況

性別	全体人数	健康マイレージ		チャレンジウォーキング			一日一万歩以上歩く人		生活習慣チャレンジ	
		エントリー者数	エントリー率	参加者数	平均歩数	参加率	人数	割合	参加者数	参加率
男	9,341	5,406	57.9%	1,656	10,342	30.6%	881	53.2%	1162	21.5%
女	6,849	3,714	54.2%	694	9,018	18.7%	229	33.0%	657	17.7%
合計	16,190	9,120	56.3%	2,350	9,951	25.8%	1110	47.2%	1819	19.9%

2014年度年間コスト

内容	金額(円)	一人あたり平均 (円)
WEB利用料 12か月分	1,944,000	
ID通知 (ハガキ発行) 4,541件	1,057,871	
ポイント利用 2,147名	14,794,272	6,891 利用者平均
合計	17,796,143	1,951 エントリー者平均

◆健康マイレージの参加率が高い事業場ほど生活習慣や疾病所見の改善が見られる。

2009年 → 2014年の改善・悪化状況（男性）

改善：青字 悪化：赤字

	マイレージ参加率 高			マイレージ参加率 低	
	A事業場 160名	B事業場 140名	C事業場 346名	D事業場 250名	E事業場 511名
マイレージ参加率（2014）	99%	81%	90%	42%	47%
タバコを吸わない	-4.6%	-10.9%	-10.9%	-6.5%	-1.1%
1日60分以上歩く	20.5%	-12.2%	5.4%	-2.1%	-5.7%
運動不足と思う	-6.9%	-3.3%	-1.2%	2.0%	0.6%
欠食（週7以上）	-0.7%	2.6%	-1.6%	2.1%	0.0%
朝食抜き（週3以上）	10.4%	-2.1%	-4.9%	2.0%	0.3%
寝る2時間以内食事（週3以上）	-2.4%	-0.8%	-0.2%	3.2%	3.2%
食事バランスを考える	-10.3%	5.8%	9.9%	-1.1%	11.4%
毎日飲酒	-6.1%	-2.0%	4.2%	-3.6%	-4.7%
腹囲所見あり	-1.7%	-4.6%	-3.4%	1.8%	3.6%
メタボ該当者・予備軍	-2.6%	-2.6%	-5.0%	8.5%	1.3%
血圧所見あり	-5.6%	-2.8%	0.9%	16.2%	0.0%
血糖所見あり	-9.9%	-8.8%	0.2%	2.2%	-3.7%
脂質所見あり	-12.0%	1.3%	-10.1%	1.8%	2.9%
2014健康づくり事業実施数（※）	10回	12回	14回	4回	2回
主な取り組み	運動教室、体力測定等	体力測定、食育セミナー等	体力測定、食育セミナー等	体力測定、身体バランス測定等	禁煙・乳がんセミナー

（※）各事業場の産業看護職、健康づくり担当が、事業場の特性に合わせたイベント、セミナー等を企画・実施。17



内臓脂肪測定イベントの概要

◆大阪大学医学部、パナソニック株式会社、花王株式会社によって開発された「腹囲生体インピーダンス法の測定原理」に基づく内臓脂肪計を使った内臓脂肪測定会を各事業場、リージョンで開催。

内臓脂肪測定会では腹部に電流を流したときにウェスト周囲に発生する特定の電圧から、腹部内の成分量を求める「腹部生体インピーダンス法」を利用して内臓脂肪を測定する医療機器を用いる。



まずは生活習慣チェックを

約5分で内臓脂肪を測定

強い動機づけ

個々の生活習慣で
●何が
●どれだけ
内臓脂肪に影響しているかがわかります。
具体的な改善策も提供されます。

※「腹部生体インピーダンス法」を利用して測定する機器を用います。

内臓脂肪を切り口とした
生活習慣測定会

職場の生活習慣の意識を変えます。

〈健康的な生活者を増やす、具体的施策パッケージです〉

知る

わかる

続ける

その場で、内臓脂肪測定&生活習慣チェックの結果をお渡しします。

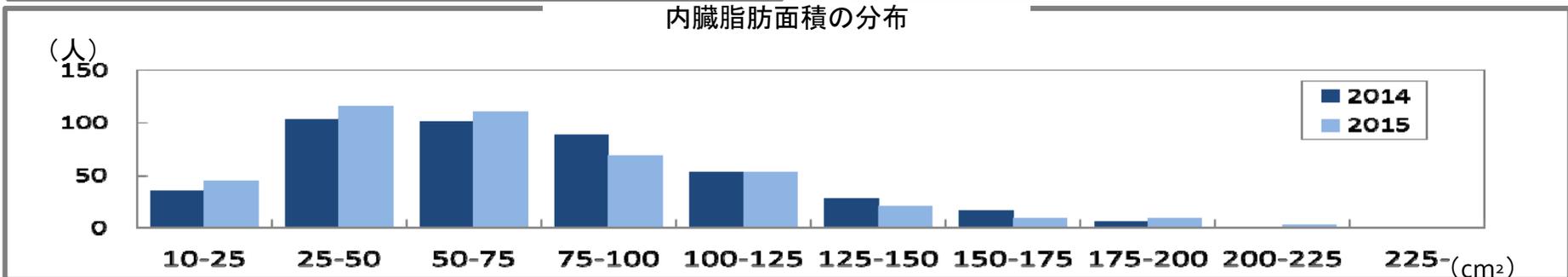
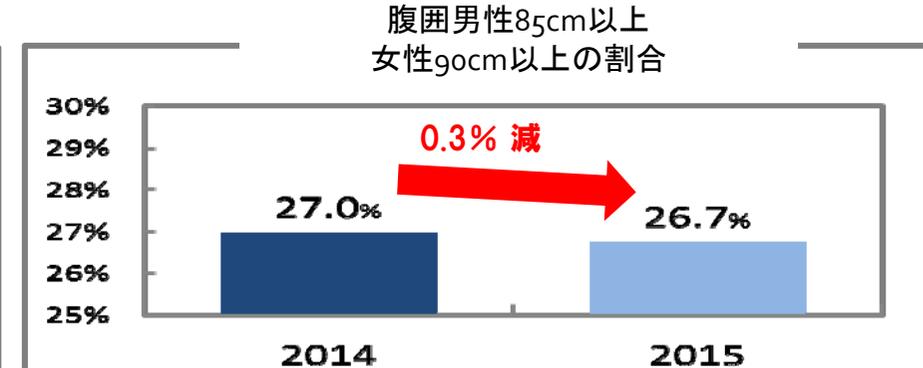
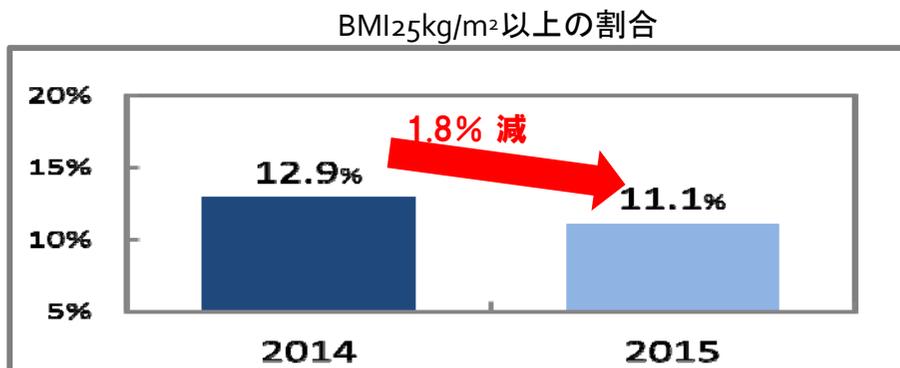
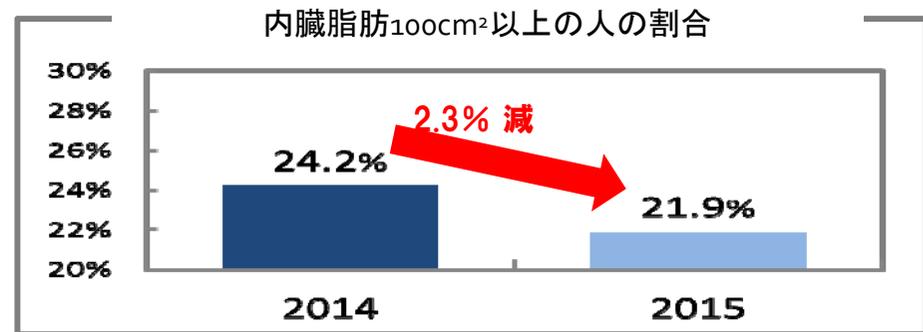
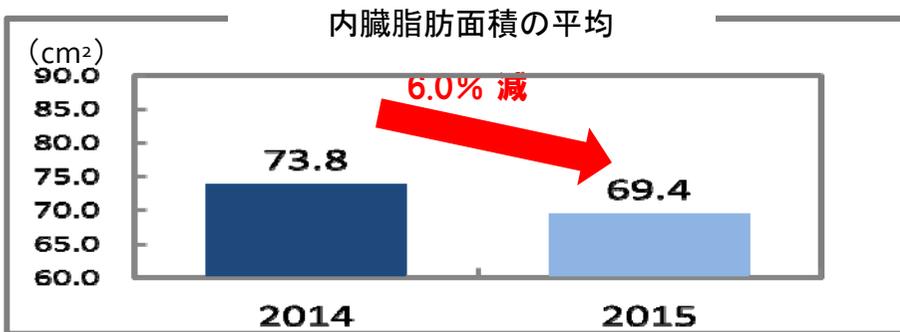
「内臓脂肪をためやすい原因」を分かりやすく説明し、個々にアドバイスを提供します。

生活改善の継続を支援するアプリもご用意しています。
※1と※2は別途有料サービスです。



内臓脂肪測定イベントの効果

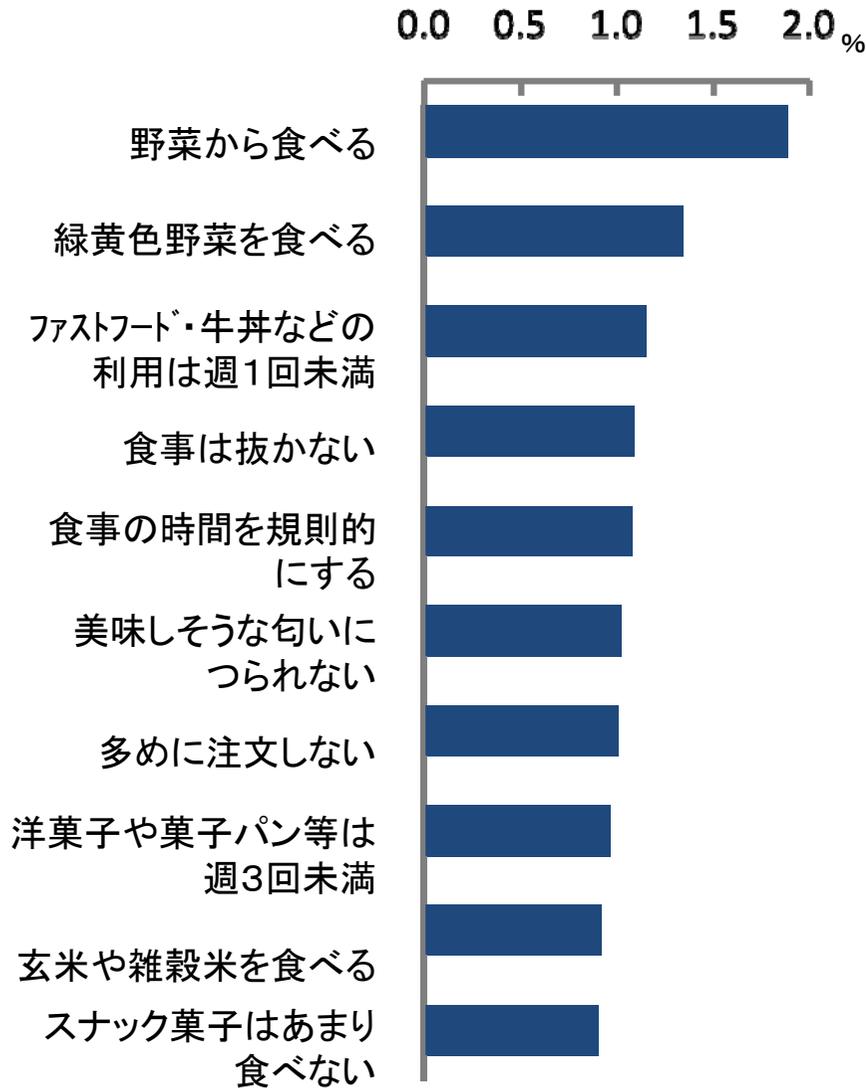
- ◆測定会開催 : 39回、参加人数 : 延べ8,169人 (2011~2015年)
- ◆2年連続参加者 : 434人 (男性 : 245人・女性189人 [平均年齢 : 44.6才]
(2014・2015年 測定会 : 12回、参加人数 : 延べ2,860人 費用 : 417万円[1人当たり1,457円])



● ● 内臓脂肪測定イベント後の生活習慣の変化

◆ 食事のとり方に関する項目が良い方向に変化。一方、お酒、生活スタイルに関しては悪化した項目も見られる。

良い方向に変化した上位10項目



悪い方向に変化した上位10項目

